

室町時代の掛川

遠江国の守護

守護は、源頼朝によってそれぞれの国に設置され、軍事や警察の権力を与えられていました。室町幕府を開いた足利尊氏は、足利氏の一族で、尊氏に従って戦い手がらをたてた今川氏を、遠江国の守護に任命しました。遠江国の守護は、15世紀の初めごろまでは、何人も交替しますが、その後、足利氏の一族で、将軍を補佐する職にあった有力な大名の斯波氏が、任命されました。しかし、斯波氏は、15世紀の中ごろに相続をめぐる争いを起こしました。この争いが、斯波氏の勢力をおとろえさせただけでなく、応仁の乱の原因のひとつになりました。

斯波氏の勢力がおとろえると、市内の原氏や川井氏などが勢力をのびし、さらに、駿河国の守護大名である今川氏が、遠江国に領地を確保するために攻めてきました。

遠江国の守護の移り変わり

室町時代
1338年～

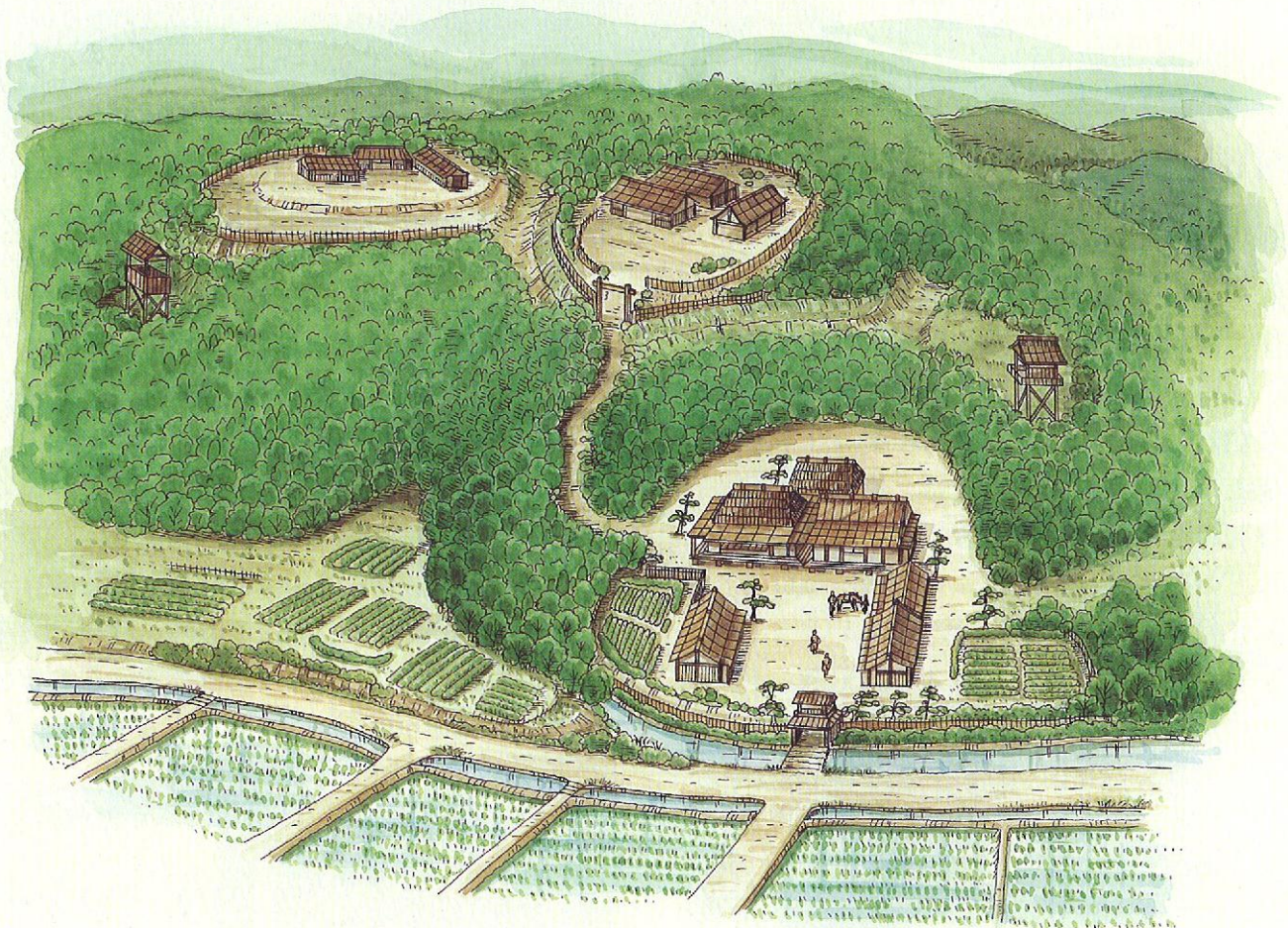
今川氏
仁木氏(足利氏の一族)
千葉氏
高氏(足利氏の側近)
今川氏
仁木氏
今川氏
斯波氏
今川氏

1419年
応仁の乱
(1467年～

斯波氏

1501年
1508年～
1526年～
1536年～

今川氏親(ここから戦国大名)
今川氏輝
今川義元



室町時代の武士の館と城(高藤城)の想像図(本郷)

当時の城は山城で、武士はふだん平地で生活をし、戦いの時、山城に入りました。

◆原氏などの勢力

原田荘の一部を支配する武士であった原氏は、少しずつ勢力をのぼしていき、原田荘全体を支配するようになりました。原氏ほど勢力はありませんが、後に今川氏にほろぼされる川井氏、松浦氏などの武士もいました。

●犬居城(天野氏)

●松葉城跡(倉真)

●松葉城(川井氏)

●倉真城(松浦氏)

●高藤(殿谷)城(原氏)

●堀越城(堀越氏)

●見附城(狩野氏)

●高天神城

●横地城(横地氏)

●勝間田城(勝間田氏)

●高天神城跡(土方)

●横地城跡(菊川市)

●勝間田城跡(牧之原市)

●堀越城跡(袋井市)

●犬居城跡(浜松市)

●高藤(殿谷)城跡(本郷)

●高天神城跡(土方)

●横地城跡(菊川市)

●勝間田城跡(牧之原市)

●堀越城跡(袋井市)

駿河

遠江

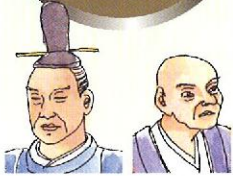
国土地理院数値地図50mメッシュ/日本-II(中東遠周辺)

12

戦国の世の掛川

◆ 勢力の移り変り

1494年～



今川氏親

北条早雲

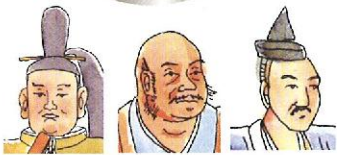
の同盟

今川氏親は、おじの北条早雲とともに、高藤城（本郷）の原氏、松葉城（倉真）の川井氏、倉真城（倉真）の松浦氏などを破ると、重臣の朝比奈氏に掛川古城（城内）をつくらせ、城主にしました。やがて、氏親は、遠江全体に勢力を広げ、駿河と遠江の守護になりました。



国土地理院数値地図50mメッシュ/日本-II (中東遠周辺)

1554年～



今川義元

武田信玄

北条氏康

の同盟

氏親の子の義元は、さらに勢力を広げて、駿河、遠江、三河を支配する戦国大名となり、武田信玄、北条氏康と同盟を結び、尾張の織田信長に対抗しました。



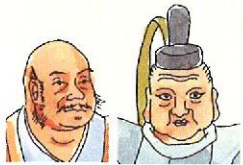
1560年



しかし、今川義元は、桶狭間の戦いで織田信長に討たれてしまい、子の氏真が跡をつぎました。

1568年

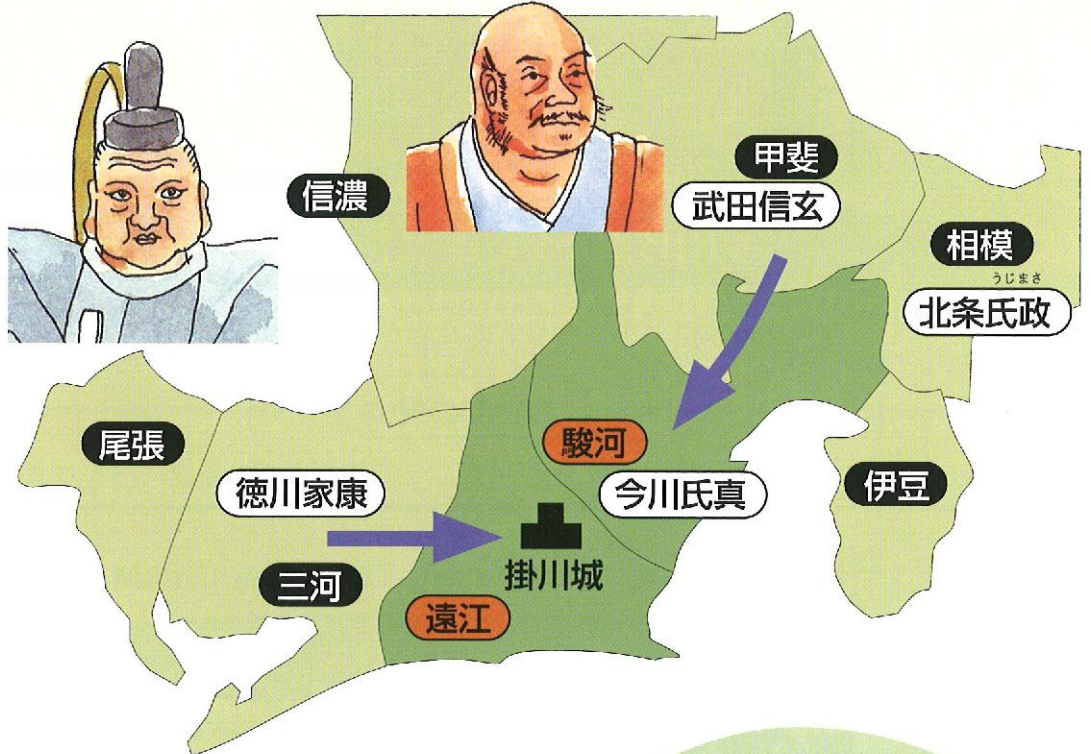
義元が討たれると、今川氏の勢力は、急速に弱まりました。そこで、武田信玄と徳川家康は、今川氏の領地を奪おうとひそかに同盟を結びました。信玄が駿河を攻め、家康が、遠江を攻めることにしました。今川氏真は、駿府（静岡市）の館を信玄に追われて、重臣朝比奈泰朝が守る掛川城に逃げてきました。



武田信玄

徳川家康

の同盟

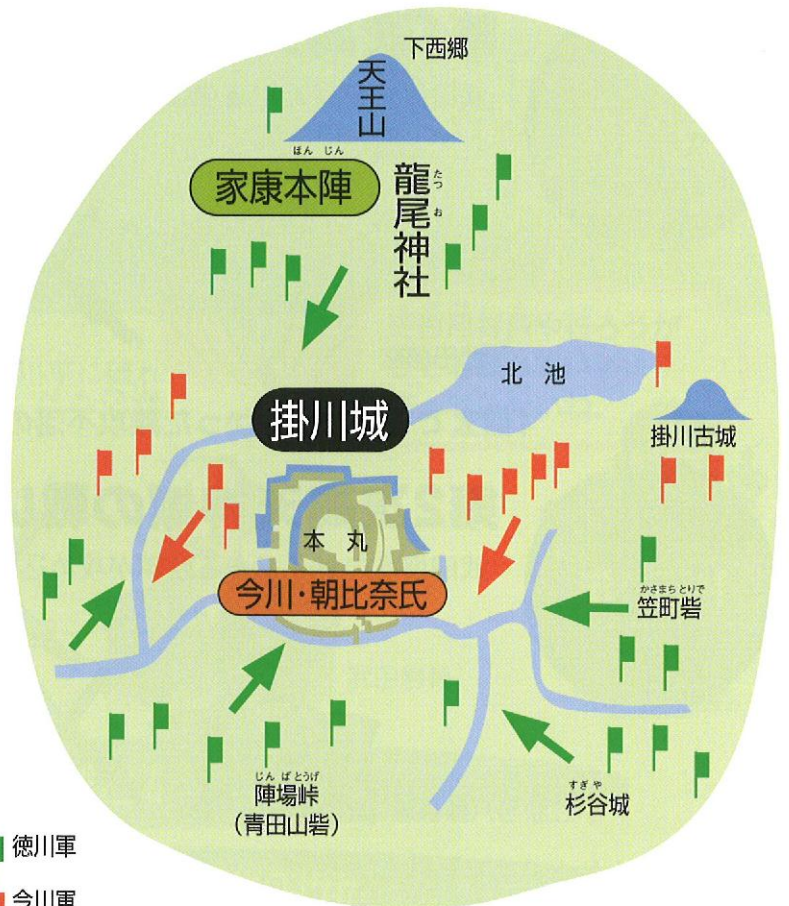


1568年
12月20日～

◆掛川城の攻撃

徳川家康は、氏真がこもる掛川城を包囲すると、家臣に命じて、掛川城下に放火させました。今川方の武上が鉄砲で撃たれて死んだという記録があります。半年に及ぶ攻防の後、氏真は、5月15日に城を家康に明け渡して、小田原の北条氏のところへ行きました。

家康は、掛川周辺を守るために大切な城であると考え、氏真が去った後の掛川城主に、重臣の石川家成を任命しました。



右の図は、18世紀後半の本にのせられている図をもとに作成した戦いの様子です。

徳川軍
今川軍

高天神城をめぐる戦い

◆「高天神を制す者は遠州を制す」とまでいわれた高天神城

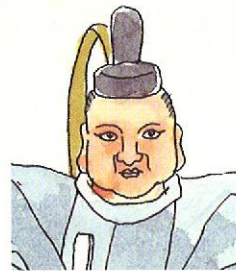
今川・武田・徳川の三氏が、遠江を支配するためにどのような戦いを繰り広げていったのでしょうか。



今川氏



武田氏



徳川氏

今川氏の城であった高天神城

今川氏の家臣、小笠原与八郎長忠が城主になりました。

桶狭間の戦い

今川義元が、織田信長に討たれたことで、今川氏の勢力が急速に弱まりました。



徳川家康の誘いに小笠原氏が乗り、高天神は徳川方の城となりました。

徳川方の城へ

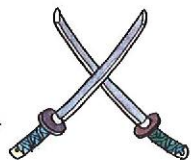
第1次高天神城の戦い

武田信玄が高天神城を攻めましたが、小笠原氏が死守しました。

1571年



武田信玄



小笠原与八郎長忠

「信玄でも落とせなかった難攻不落の城」と言われ、高天神城を有名にしました。

第2次高天神城の戦い

武田信玄の息子である勝頼が攻め込み、高天神を手に入れました。

1574年



小笠原与八郎長忠



武田勝頼

武田方の城となりました

第3次高天神城の戦い

~1581年

徳川家康が、高天神城を取り戻そうと6つの砦を築き、包囲網を狭めました。

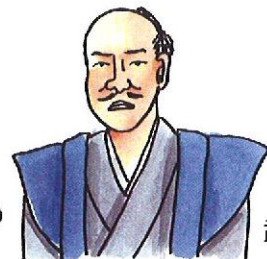
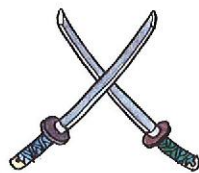


1581年、武田軍が総攻撃をしかけましたが、徳川軍に破れ、全員討ち死にしました。

三日月井戸や石ろうが
今でも残っているよ！
行ってみたいね。



徳川家康



武田勝頼



再び、徳川方の城となりました

しかし、徳川家康が城を焼いたため、その後、高天神城は城として使われることはありませんでした。城の役割は、横須賀城が引き継ぐこととなりました。